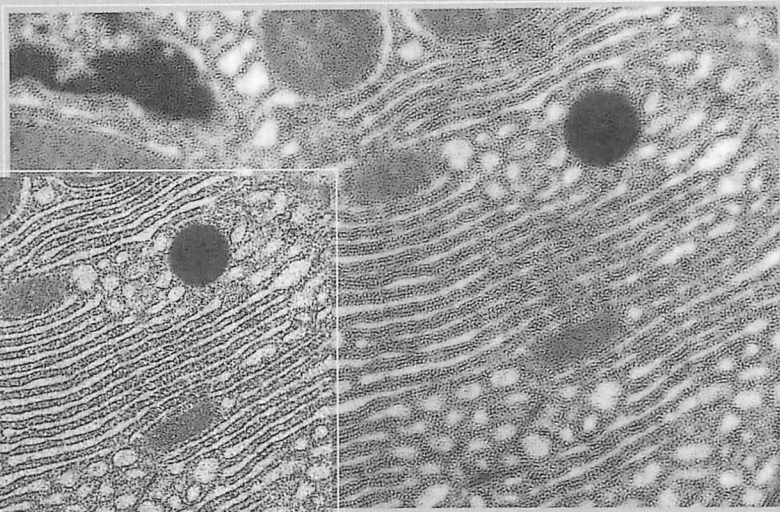
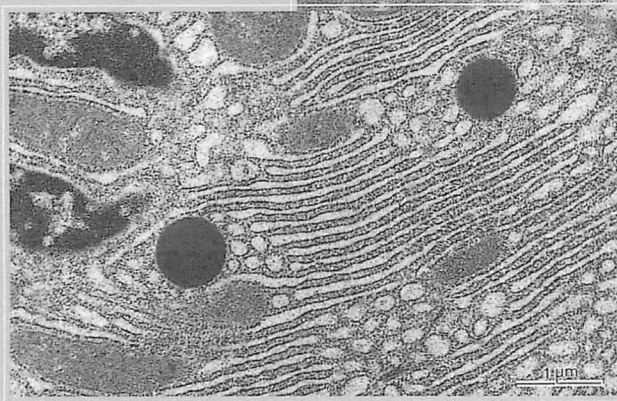


HITACHI

オートフォーカスOFF



オートフォーカスON



すっきり画像をすべてのユーザーに—— 高速オートフォーカス

特長

- 1 高速オートフォーカス機能を搭載し、0.9秒で焦点合わせが可能
- 2 TVカメラを標準装備し、明るい部屋で試料の視野探し撮影が可能
- 3 PC制御、GUI採用により、容易な操作
- 4 ネットワーク対応でリモート操作が可能 (オプション)

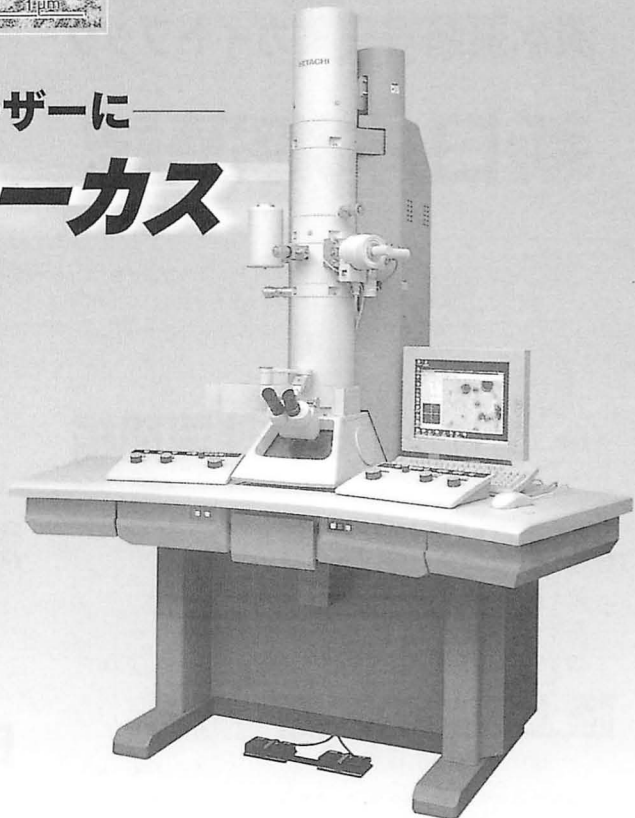
仕様

分解能：0.204nm(格子像)、0.36nm(粒子像)

試料ステージ：高精度ハイパスステージ

加速電圧：40～120kV

倍率：Low Magモード×50～×1,000
Zoomモード×700～600,000



株式会社 日立ハイテクノロジーズ

本社 〒105-8717 東京都港区西新橋一丁目24番14号
電話ダイヤルイン(03)3504-7211

事業所	北海道(札幌)	(011)221-7241	関西(大阪)	(06)4807-2551
	東北(仙台)	(022)264-2211	京都(京都)	(075)241-1591
	筑波(土浦)	(0299)25-4811	四国(高松)	(0878)62-3391
	横浜(横浜)	(045)451-5151	中国(広島)	(082)221-4514
	中部(名古屋)	(052)593-5851	九州(福岡)	(092)721-3501
	北陸(金沢)	(0762)63-3480		

インターネットホームページ <http://www.hitachi-hitec.com/science/>

日立電子顕微鏡

H-7600

世界の淡水産紅藻

熊野 茂 著

B5判・上製416頁・本体価格28000円

清澄な水域に生息している淡水産紅藻は、環境汚染に極めて敏感であるため、地球の規模での水の汚染の危険を人類に知らせる有効な指標としての役割を担っている。しかし水質の汚染に伴い残念ながら淡水産紅藻種のいくつかの種は既に絶滅し、また多くの種の絶滅が危惧されている。本書は淡水産紅藻という分類群の現時点での研究成果をまとめたものであり、世界で認められている淡水産紅藻の大部分の分類群を、種、変種のランクまで収録する。

淡水藻類入門

淡水藻類の形質・
種類・観察と研究

山岸 高旺 編著

B5判・700頁(口絵カラー含む)・本体価格25000円

「日本淡水藻類図鑑」の編者である著者がまとめる、初心者・入門者のための書。多種多様な藻類群を、平易な言葉で誰にも分かるよう、丁寧に解説する。Ⅰ編、Ⅱ編で形質と分類の概説を行い、Ⅲ編では各分野の専門家による具体的事例20編をあげ、実際にどのように観察・研究を進めたらよいかを理解できるように構成する。

淡水藻類写真集

1巻
～20巻

山岸 高旺・秋山 優 編集

各巻 B5判・216頁・100シート

1・2巻4000円、3～10巻5000円、11～20巻7000円

淡水藻類写真集ガイドブック

山岸高旺 著

B5判・144頁・本体価格3800円

新日本海藻誌

— 日本産海藻類総覧 —

吉田 忠生 著

B5判・総頁1248頁・本体価格46000円

本書は古典的になった岡村金太郎の歴史的大著「日本海藻誌」(1936)を全面的に書き直したものである。「日本海藻誌」刊行以後の約60年間の研究の進歩を要約し、1997年までの知見を盛り込んで、日本産として報告のある海藻(緑藻、褐藻、紅藻)約1400種について、形態的な特徴を現代の言葉で記載する。植物学・水産学の専門家のみならず、広く関係各方面に必携の書。

近刊

小林珪藻図鑑

小林 弘

南雲 保・出井雅彦・真山茂樹・長田敬五 著

藻類の生活史集成

堀 輝三 編

第1巻 緑色藻類 B5・448p(185種) 8000円

第2巻 褐藻・紅藻類 B5・424p(171種) 8000円

第3巻 単細胞性・鞭毛藻類 B5・400p(146種) 7000円

陸上植物の起源

渡邊 信 共訳
堀 輝三

— 緑藻から緑色植物へ —

A5・376p・4800円

最初に海で生まれた現生植物の祖先は、どのような進化をたどって陸上に進出したのか——。分子生物学、生化学、発生学、形態学などの成果にもとづく探求の書。

日本淡水藻類図鑑

廣瀬弘幸・山岸高旺 編集

B5・960p・38000円

図鑑としての特性を最高度に発揮すす為図版は必ず左頁に、図版の説明は必ず右頁に組まれ、常に図と説明とが同時にみられるように工夫。また随所に総括的な解説や検索表を配し読者の便宜を図る。

藻類多様性の生物学

千原光雄 編著

B5・400p・9000円

藻類の今を見渡し、理解するための最適の書。斯界の第一人者により、藻学および周辺領域の膨大な知識の蓄積が整理され、新しい研究成果も取り入れられている。藻学を学ぶ方、またこの分野に興味のある方の新たなスタンダード。

日本の赤潮生物

福代・高野 共編

千原・松岡

— 写真と解説 —

B5・430p・13000円

日本近海および日本の淡水域に出現する200種の赤潮生物を収録。赤潮生物の分類・同定に有効な一冊。

原生生物の世界

丸山 晃 著

丸山雪江 絵

細菌、藻類、菌類と原生動物の分類

B5・440p・28000円

原生生物、すなわち細菌、藻類、菌類と原生動物の分類という壮大な世界を緻密な点描画とともに一巻に収めた類例のない書。

表示の価格は本体価格ですので、別途消費税が加算されます。

〒112-0012 東京都文京区大塚3-34-3

TEL 03-3945-6781 FAX 03-3945-6782

内田老鶴園

学 会 出 版 物

下記の出版物をご希望の方に頒布いたしますので、学会事務局までお申し込み下さい。(価格は送料を含む)

1. 「藻類」バックナンバー 価格, 各号, 会員 1,750 円, 非会員 3,000 円; 30 巻 4 号 (創立 30 周年記念増大号, 1-30 巻索引付き) のみ会員 5,000 円, 非会員 7,000 円; 欠号 1-2 巻, 4 巻 1, 3 号, 5 巻 1, 2 号, 6-9 巻全号。「藻類」バックナンバーの特別セット販売に関しては本誌記事をご覧ください。
2. 「藻類」索引 1-10 巻, 価格, 会員 1,500 円, 非会員 2,000 円; 「藻類」索引 11-20 巻, 価格, 会員 2,000 円, 非会員 3,000 円, 創立 30 周年記念「藻類」索引 1-30 巻, 価格, 会員, 3,000 円, 非会員 4,000 円。
3. 山田幸男先生追悼号 藻類 25 巻増補, 1977, A5 版, xxviii + 418 頁。山田先生の遺影, 経歴・業績一覧・追悼文及び内外の藻類学者より寄稿された論文 50 編 (英文 26, 和文 24) を掲載。価格 7,000 円。
4. 日米科学セミナー記録 Contributions to the systematics of the benthic marine algae of the North Pacific. I. A. Abbott・黒木宗尚共編, 1972, B5 版, xiv + 280 頁, 6 図版。昭和 46 年 8 月に札幌で行われた北太平洋産海藻に関する日米科学セミナーの記録で, 20 編の研究報告 (英文) を掲載。価格 4,000 円。
5. 北海道周辺のコンブ類と最近の増養殖学的研究 1977, B5 版, 65 頁。昭和 49 年 9 月に札幌で行われた日本藻類学会主催「コンブに関する講演会」の記録。4 論文と討論の要旨。価格 1,000 円。

2002 年 3 月 5 日印刷

2002 年 3 月 10 日発行

© 2002 Japanese Society of Phycology

日 本 藻 類 学 会

禁 転 載
不 許 複 製

Printed by TOPRI

編集兼発行者

田 中 次 郎

〒108-8477 港区港南 4 - 5 - 7

東京水産大学

Tel & Fax 03-5463-0526

印 刷 所

株式会社 東 プリ

〒144-0052 大田区蒲田 4 - 41 - 11

Tel 03-3732-4155

Fax 03-3730-8286

発 行 所

日本藻類学会

〒990-8560 山形市小白川町1-4-12

山形大学理学部生物学科

Tel 023-628-4610

Fax 023-628-4625

藻類

The Japanese Journal of Phycology (Sôru)

第50巻 第1号 2002年3月10日

目次

出井雅彦・南雲保：特殊な条線構造をもつ単縦溝珪藻 <i>Achnanthes simplex</i> Hust. の微細構造と分類学的検討	1
研究技術紹介	
松村航：大型海藻類の細胞培養—褐藻コンブ目植物のプロトプラストの単離・培養と再生パターン—	7
海外藻類事情	
筒井功：ベトナム海藻事情（1）ホンダワラ類の生態・採取・利用	15
藻場の景観模式図	
寺脇利信・新井章吾：9. 宮崎県門川湾乙島地先	21
博物館と藻類	
内村真之・沖幸祐：アマモ場を水槽内に再現—宮島町立宮島水族館—	24
新山優子：熊本市江津湖の藻類	27
熊野茂・香村真徳・新井章吾・佐藤裕司・飯間雅文・洲澤讓・洲澤多美枝・羽生田岳昭・三谷進： 1995年以降に確認された日本産淡水産紅藻の産地について	29
有用海藻増殖研究会：日本海沿岸の海藻に関する情報（1）海藻の地方名	37
国際湿地保全連合日本委員会：重要藻場調査手法検討調査報告	41
松井香里：重要湿地の選定と重要藻場調査手法検討調査，相生啓子：浜名湖におけるアマモの現存量の推定法に関する試験的調査，青木優和：下田市田牛地先におけるカジメ海中林調査の経過報告， 新井章吾：福岡県津屋崎町鼓島の藻場調査，藤田大介：氷見市虹が島のガラモ場調査，川井唯史： ホソメコンブ群落における種の多様性	49
秋季藻類シンポジウム（2001.11.16）「藻類由来の機能性成分の研究と利用の展望」要旨	49
山下栄次：アスタキサンチンの機能特性とその応用	53
楠見武徳：海藻の化学成分と医薬品応用への可能性	57
片岡博尚：中国科学院海洋研究所訪問記	59
片岡博尚：第2回多核細胞研究会研究交流会報告	62
深谷幸子：「藻類談話会」参加記	63
学会シンポジウム情報	63
Algae 2002開催のお知らせ（その3）；第17回国際珪藻シンポジウム2002と発表助成募集の お知らせ；第6回マリンバイオテクノロジー学会大会；第3回国際藻類ウイルスワークショップ； Culture Collections of Algae: increasing accessibility and exploring Algal Biodiversity Sept. 2-6, 2002	69
英文誌 Phycological Research 49(3)掲載論文和文要旨	72
学会録事・新刊紹介	74
投稿案内・会則・入会申込・住所変更届	74